



2P) 広間とダイニングスペースは、方位と隣家の影を検討しながら配置した。大きなコーナー窓はそれぞれの戸袋に障子、ガラス窓、網戸、雨戸を収納して大きく解放することが出来る仕組みとなっている。

3P 左) 敷地形状を活かし、中庭を横目にしながらゆったりとしたアプローチを計画した。黒のガルバリウム鋼板の中に木の窓枠がポイントになり、木の家の雰囲気外観からもにじみ出ている。

3P 上) 深い軒が印象的な玄関ポーチ。板塀の先には同じ軒下に自転車置き場を設け、軒下を機能的に使用している。

木に包まれた空間

Iさんのお宅は、藤枝市の中心から少し北に行った住宅地に建築されました。この地域はご両親や知人友人も近く、生まれ育った地域だったので、いつかはこの地域に家を建てるのがご夫婦の夢だったと伺いました。私がIさんご夫婦と初めて会ったのは、確か3年以上前だったと思います。若々しいご夫婦で明るく元気なお二人だなくが第一印象。色々な家を見てデザイン好みもあるけど、やっぱり手づくりの木の家がいいなと話してくれました。家の性能の事、設備の事、そしてコストの事についても悩み、自分たちに合った家について模索している、そんな印象を受けました。建築相談からしばらくの間は、構造や完成現場見学に何度も足を運ばれ、ココラボのつくる木の家について具体的に聞いていただきました。ご主人のお父さんが現役の大工さんと言う事もあり、ココラボの行っている手刻みや造作仕事などにも関心を示され、また何度か実際の家を見ていただくにつれ、木に包まれた空間をとても心地よいと思うようになり、ココラボでの家づくりを選択してくれました。その後、具体的な打ち合わせがスタートし、時間をかけて間取りや素材、設備などを決めていきました。

暮らしの選択

完成現場報告

藤枝市／『豆の家』

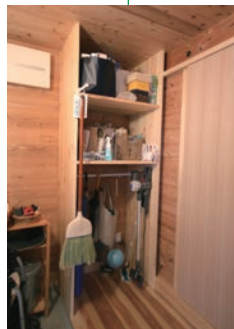
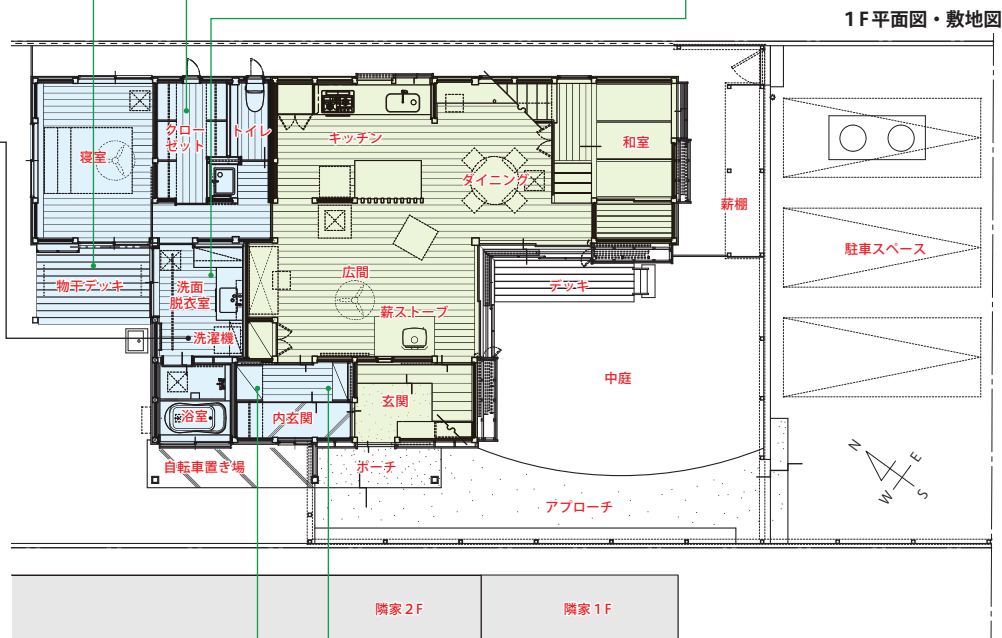
文・写真／ココラボ 山崎健治



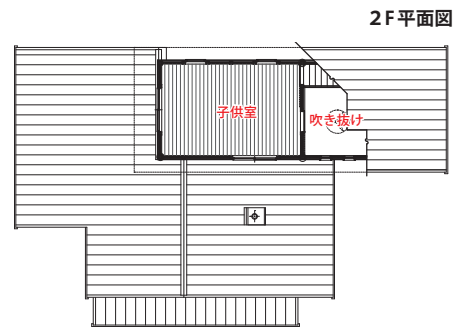
7月に入りいよいよ本格的な夏を迎え、少し前までポカポカ暖かいと感じた太陽の日射しがジリジリと照りつけ、建築現場では1年の中で一番厳しい季節になりました。屋根の上や狭い場所での作業はとても大変で、この季節は厳しい暑さを感じますが、日陰で時折吹く風が心地よく、夏ならではの心地よさを感じる事もできます。今回ご紹介する『豆の家』はちょうど1年前に完成したお宅で、完成見学会の際に南北に通る抜ける風がとても心地よいと感じた事を覚えています。先日撮影で伺った際も気持ちのいい風が吹き、施主のIさんご家族もとても気持ちがよいと話してくれました。



洗濯動線 脱衣室を中心に、物干しデッキ、クローゼットを最短の動線で結び、家事の効率を重視した。脱衣室は少し広めの3帖確保し、室内干しのスペースと合わせて洗濯物を畳むカウンターを設けている。



内玄関と収納 玄関横に、掃除道具収納棚と靴収納棚を設けた内玄関を配置した。内玄関がある事で玄関を綺麗に保つ事が出来、急な来客でも余裕をもって対応出来る。



上) 中2階の一部に廊下の様な踊り場を設け、階段を2つに分けている。踊り場から2階にはブリッジのようなアイアンの階段を設け、この部屋のアクセントとしている。

下) 中2階の下部を外部収納として利用している。外部から利用する事で床下スペースも有効に活用する事が出来、大きな収納スペースとして役立っている。



ダイニングと中2階に設けた畳コーナー。畳コーナーは空間の変化をもたせるためにダイニングから1m程上がった場所に設けた。3畳程の小さなコーナーだがゴロツと昼寝も出来てこの家のくつろぎの場になっている。

立体的な変化を楽しむ空間

今回の敷地は南北に少し長い長方形ですが周辺環境もよく十分な広さがありました。道路に対して南が少し西側に向いている点、西隣の家の影が少し気になる点などがありました。そのポイントを間取りのきつかけにして広間とダイニング、キッチンの配置を決め、その流れに合わせて全体の計画をしていきました。今回のプランは単純な2階建てではなく、階段の途中に小さな畳コーナーを設けた中2階のある間取りとなりました。このスペースは、家族の集うスペースをただの平面空間だけではなく立体的に楽しみのある空間にしたいという1さんの希望を形にしていく中で生まれ、2階の子供部屋とダイニングをつなぐ、くつろぎの場としてゴロツと出来る畳スペースを設ける事になりました。空間をつなぐ階段をこの部屋のシンボルにしたいと考え、1本のつながったアイアンの手摺を取り付けました。3次元で変化していく手摺の制作は難しく、今回もアトリエプラトールさんを悩ませてしまいましたが、軽快で思わず登りたくなる素敵な階段が出来上がりました。中2階の空間をつくることでその下部にスペースが生まれます。今回はこのスペースを外から使う倉庫的な場所とし、薪割り道具などをはじめ外部で使用する様々な物が収納されています。

干して畳んで仕舞う

『豆の家』のプランの特徴は中2階空間だけでなく、パブリックな空間とプライベートな空間がはっきりと分かれている点にもあります。この流れは玄関からはじまり、パブリック空間は玄関から右に流れ、プライベート空間は左に流れていきます。玄関に続けて設けた内玄関には靴棚や掃除道具などの収納棚などを設け、主な玄関はすっきりとベンチのみを設けています。内玄関から広間を抜け、風の通り道である廊下に入ると、右手にトイレと手洗い、クローゼットが並び、左側に洗面脱衣、浴室と続きます。一番奥に寝室を設け、脱衣室と寝室から出入りできる屋根付きの物干しデッキを設けました。この配置は奥さんから要望のあった、干して畳んで仕舞うを最短で行う動線を確保するため。この動線が長いと、干したまま、畳んだままになってなかなか片付かず、家事のストレスも増えてしまいます。この流れはともうまいき、奥さんの要望に応えることができて私も嬉しく思っています。プライベートな空間が充実していると広間やダイニングなどのパブリック空間にも余裕が生まれ、ストレスが自然と少なくなると思います。快適に暮らすための工夫は、家事の動線の充実が大切なのかもしれませんね。

新しい暮らしと共に新しい家族が増えたIさんご家族。今までと全く違った暮らしに変わり、戸惑いながらも明るく楽しく暮らしている様子が伺えた。丸テーブルに集まった様々な椅子が印象的。この場所でこれから色々な会話が始まるんですね。



仕様内容	
家族構成	家族3人
敷地面積	299.53㎡
建築面積	97.79㎡
延べ床面積	107.65㎡
構法	落し込み板壁工法
屋根	ガルバリウム鋼板長尺横葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼 一部漆喰コテ押え
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、ヒバ ペアガラス、アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 杉落し込み板現し
床	玉紙貼り、漆喰塗、青森ヒバFJ本実板張り
内部建具	杉本実板張り 厚30mm オリジナル木製建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	TOTO 人工大理石天板オリジナル洗面化粧台
浴室	日比野化学工業ハーフユニットバス
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所
竣工	平成27年6月

新しい家、新しい暮らし、新しい家族と共に
実施設計が進み、工事の工程も考え始めた頃、Iさんご家族に嬉しいお知らせが届きました。そうです、新しい命が宿りました。家づくりの過程でよくあるのですが、幸せは倍々で：なんでしょう。新しい家で新しい暮らしがはじまり、そして新しい家族も加わり、今までとは全く違った生活がはじまります。
出産の準備と引越しの準備が重なり大変だとは思いますが、新しい暮らしにチェンジするタイミングということで、逆に考えれば良いタイミングとも言えます。引越しと共に、家具や生活道具に合わせて赤ちゃんグッズも増え、木の家が一気に家族の暮らす木の器へと変わっていききました。Iさんに初めて会った数年前に感じていた若々しさは、打ち合わせを重ね、工事が進み、そして新しい家族を迎えたことで、自分たちの選択への満足感と、これからの暮らしへの責任感をしっかりと持っているお二人へと変わってきたように思います。家づくりは単にものづくりだけではなく、新しい暮らしづくりなのだと思えて感じました。豆から芽を出し、そして大きく育っていくように、Iさんご家族もゆっくりと育ち、この場所に確かな根を張っていつて欲しいと願っています。

『豆の家』その他の工夫をご紹介します



薪棚 Iさんのお父さん制作の薪棚。4つの部屋に分かれたタイプで約4ヶ月分の薪を確保出来る。薪棚は風通しの良い場所に設置するのが望ましい。



薪ストーブ 広間に設置した薪ストーブはSCAN CI-8GLCBシンプルで使いやすく、大きなガラス面からの炎がとても綺麗な薪ストーブ。



2階子供部屋 2階には12畳の子供部屋を設けた。今後成長に合わせて使い方を考えていけるよう、あえてワンルームのスペースとした。



玄関ベンチ アイアンの手摺とスリッパ収納を設けたベンチ。玄関は板倉の杉板をそのまま現し、木に包まれ空間となった。



縦格子と障子 広間とキッチンの間仕切りに縦格子を配置した。こもりがちなキッチンの通風を確保しつつ、キッチンと広間の適度な気配を感じられる壁として重宝している。広間とダイニングのコーナー窓に内障子を設けた。窓からの冷気を遮断し、落ち着いた雰囲気を与えてくれる。



トイレ 玄関と同じくこちらも木に包まれたスペースとした。壁には棚を2段設置し、使う場所に合わせて収納と飾り棚としている。



手洗いカウンター トイレの出入り口に少し大きめの手洗いカウンターを設けた。タモのカウンターに陶器をはめただけのシンプルな手洗い。



木の浴室 ハーフユニットバスを利用して、壁と天井に青森ヒバを貼った浴室。清涼感のある香りに包まれたリラックス出来る浴室。



キッチン 大きな窓を設けたキッチン。4つに仕切られたガラスは一カ所だけ引き戸で開閉出来る仕組み。明るく風通しの良いキッチンとなった。